

# ファーマパッケージング事業の成長戦略

2023年11月16日

上席執行役員 ファーマパッケージング事業部長

岩佐 昌暢



# 目次

---

**1 損益の推移（2022年度～2023年度）**

**2 市場環境および成長戦略**

**3 商品ポートフォリオの拡充**

**4 安定供給体制の整備**

**5 2030年に向けた収益目標**

# 損益の推移状況

[単位：億円]

勘定科目	2022年度 第2四半期累計	2023年度 第2四半期累計	増減額	前年比率
【売上高】	279.9	330.3	+50.4	118%
(うち外部顧客への売上高)	250.4	299.8	+49.4	120%
【売上原価】	220.1	270.3	+50.2	123%
【売上総利益】	59.8	60.0	+0.2	100%
(売上総利益率)	21.4%	18.2%		
【販売費及び一般管理費】	38.8	45.5	+6.7	117%
【営業利益】	20.9	14.5	△ 6.4	69%
(営業利益率)	7.5%	4.4%		

# 損益推移（売上高・営業利益）

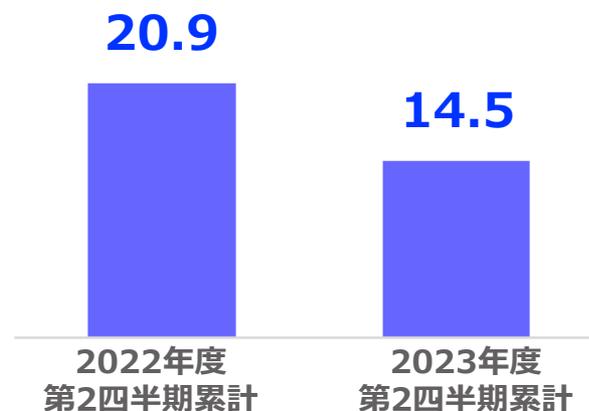
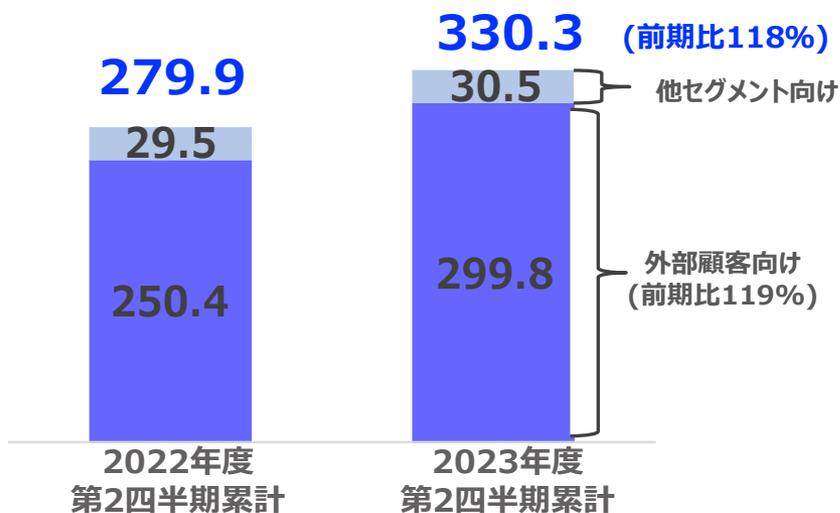
[単位：億円]

## 売上高

- 2022-2023年度の売上高増加要因
- ◇医薬用ガラス容器の出荷量増
  - ❖ガラス容器用生地管の需要減少
  - ◇円安の伸長および販売価の引き上げ

## 営業利益

- 2022-2023年度の利益減少要因
- ❖欧州におけるエネルギー・労務コスト等の高騰
  - ❖新規設備立ち上げに係る費用の一括計上
  - ◇高付加価値品の出荷比率の増加



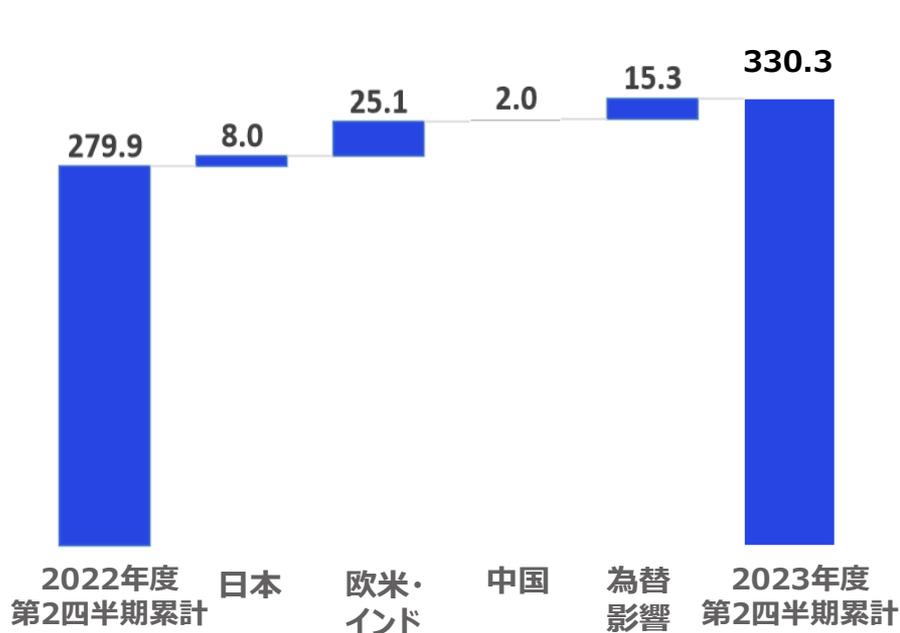
通貨	2022年2Q	2023年2Q
USD(米ドル)	124.52	136.54
EUR(ユーロ)	135.16	147.93
CNY(人民元)	19.13	19.55
INR(インドルピー)	1.64	1.67
RUB(ロシアルーブル)	1.80	1.77

※HRK(クワチアケナ) は本年よりEURに移行

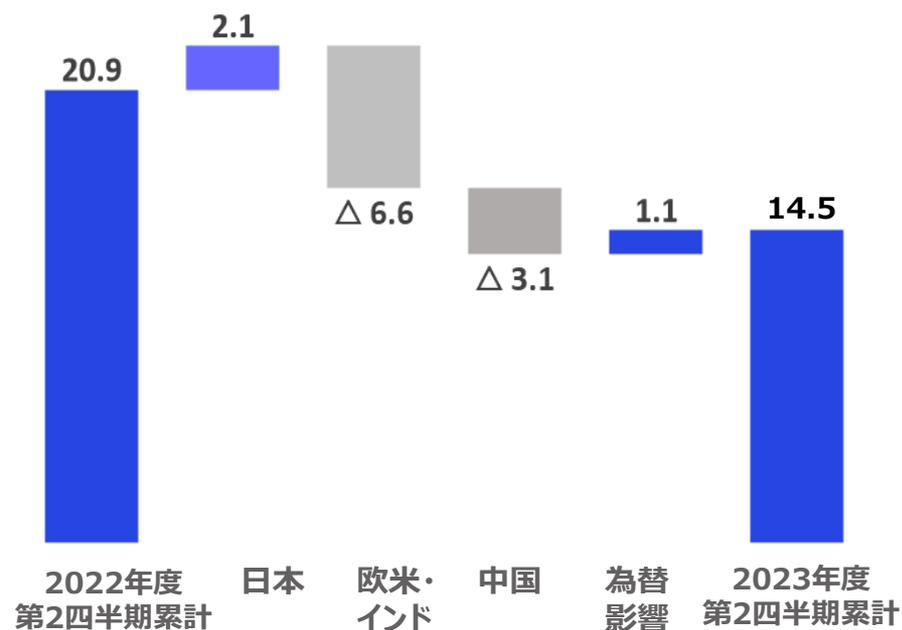
# 損益推移（売上高・営業利益の地域別増減状況）

[単位：億円]

## 売上高



## 営業利益



通貨	2022年2Q	2023年2Q
USD(米ドル)	124.52	136.54
EUR(ユーロ)	135.16	147.93
CNY(人民元)	19.13	19.55
INR(インドルピー)	1.64	1.67
RUB(ロシアルブル)	1.80	1.77

※HRK(クロアチアクナ) は本年よりEURに移行

# 損益推移 通期見込 (売上高・営業利益)

[単位：億円]

## 売上高

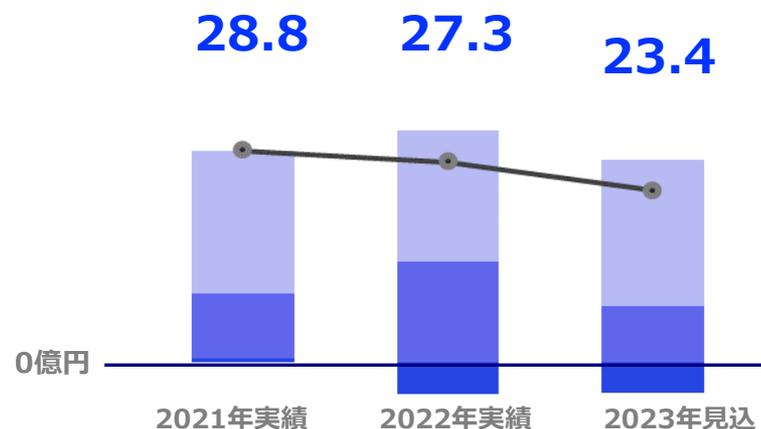
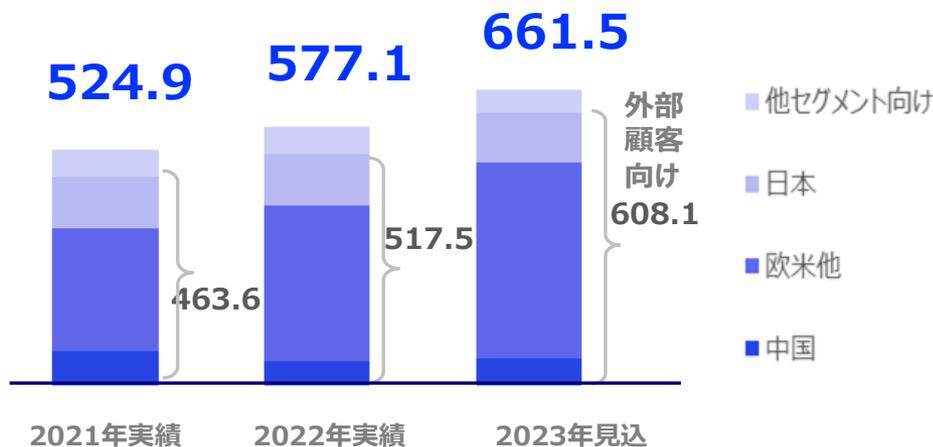
2022-2023年度の増収要因

- ◇(欧米)医薬用ガラス容器の販売量増加
- ◇(日本)注射・輸液関連製品の出荷堅調
- ◇(全般)円安の伸長・販売価の引き上げ

## 営業利益

2022-2023年度の減益要因

- ◇(日本)高付加価値品の販売増
- ❖(欧州)インフレに伴う関連コストの増加
- ❖(中国)高付加価値ガラス容器の販売量減



通貨	2021年実績	2022年実績	2023年見込
USD(米ドル)	110.37	132.08	140.00
EUR(ユーロ)	130.34	138.52	151.00
CNY(人民元)	17.12	19.50	19.70
INR(インドルピー)	1.50	1.68	1.70
RUB(ロシアルブル)	1.49	2.02	1.68
HRK(クロアチアクナ)	17.42	18.39	EURに移行)

# 市場環境

## 医療先進国

- 注射剤から経口・徐効製剤への移行
- 新薬用ガラス容器の規格要求向上

## 医療新興国

- ジェネリック薬品向け容器の需要急拡大
- グローバル基準容器への移行

## 全世界共通

- 感染症対策を織り込んだヘルスケア政策の促進
- 予防・在宅医療の推進（ユーザー・フレンドリー需要の増）
- 製剤メーカーのReady to Use品への移行
- インフレ・トレンドの継続・医療費予算の抑制
- 在庫調整局面と供給能力超過による価格引下圧力
- サステナビリティ社会への移行・サプライチェーンの再構築

## 成長戦略

- 地域ごとのステークホルダーのニーズに応じた製品開発・販売  
…Key Word「商品競争力の向上」「市場カバー率の拡大」
- 適正な価格による顧客需要に応じた柔軟な製品供給  
…Key Word「安定供給体制の整備」「生産性の向上」

# 成長戦略の概要

## 商品競争力の向上

- 顧客ニーズの迅速な商品化
- グローバル市場向け開発体制の強化
- 既存商品の高品質化・高付加価値化
- スペシャリティ領域における新規医療用デバイス機器の開発

## 安定供給体制の整備

- 生産能力の段階的増強
- BCP対応の整備
- 柔軟なサプライチェーン体制の構築
- 人的資源の安定的な確保・活用

## 市場カバー率の拡大

- 新規市場の開拓・成長市場への拡販
- プレミアム製品のシェア向上
- 薬効領域に応じた最適容器の提案
- ワンストップソリューションの展開

## 生産性の向上

- 省人化推進と機械能力の最大活用
- 製造拠点間の生産ミックスの合理化
- 商品ポートフォリオの最適化
- グローバルスケールでのサプライチェーンの強化

# 商品ポートフォリオの拡充（注射剤用直接容器・デバイス）

～広範なニーズに対応するため、主力品および関連商品の品揃えを加速～



Vial



Prefillable Syringe (PFS)



High Value-Added Product

バイオ製剤向け

PFS関連の商品

安全性・痛み軽減を目的とした商品



Vialex™



CURACASE™

LInC™

D2F™



セーフティシリンジ



Exadose™

増産体制整備中  
(米・独・びわこ工場)

2023年  
出荷開始

ワクチン用途  
向けに拡販中

増産体制整備中  
(独・びわこ工場)

開発は完了、今後、生産体制の構築を本格化

# 商品ポートフォリオの拡充

## ～D2F™シリコン・フリー・シリンジの供給体制構築（ドイツ）～

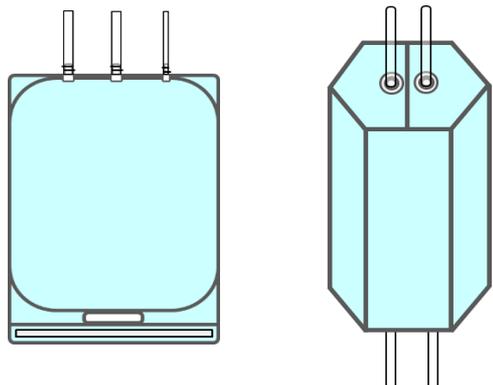
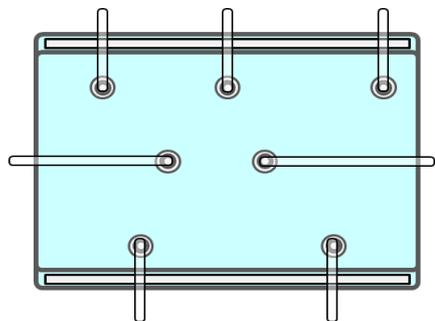
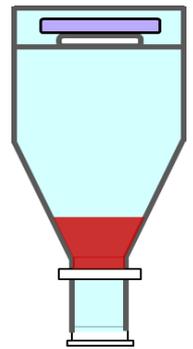
- ➡ 高付加価値品目としてD2F™シリンジの品揃えに追加
- ➡ バイオ製剤が抱えるタンパク質用液の凝集リスクを抑制したシリコン・フリーの医薬用ガラス容器
- ➡ バレル・プランジャー・ストッパーいずれの部位においてもシリコンは不使用
- ➡ 独自技術により使用時の摺動性・容器の完全性を担保し、不溶性微粒子もEP（欧州薬局方）規格に適合
- ➡ 成長著しい抗癌剤やワクチン、免疫系疾患領域を中心とした旺盛な需要に対応



[商品のイメージ]

# 商品ポートフォリオの拡充

## ～シングルユースバッグUstem™のラインナップ（日本）～

分類	プロセスバッグ	NBSバッグ™	パウダーバッグ
形状	<p>2D                      3D</p> 		
用途	<p>培地・中間体・原薬等の 充填・搬送・貯蔵に使用</p>	<p>細胞培養に使用 (振とう装置に載せることを想定)</p>	<p>粉体(培地・試薬) の計量・搬送に使用</p>

- 👉 バイオ製剤の細胞培養や中間体・原薬等の充填・搬送・貯蔵等に使用
- 👉 カスタムメイドによる優れたデザイン性・高品質の確保（組付不良・異物の低減）
- 👉 プロセスバッグ、NBSバッグに続き、新たに3Dパウダーバッグの採用が決定
- 👉 国内市場は海外製が寡占状態で国内製造品の需要が拡大（有事対応含む）

# 安定供給体制の整備 (シングルユースバッグ等の量産化)

～ワクチンの国内製造体制整備を目的とした国の補助事業に採択～  
ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業(部素材分野)



## [シングルユースバッグのイメージ]

- 👉 対象はシングルユースバッグ・無菌接続コネクタ (細胞培養や原薬の搬送・貯蔵用)
- 👉 子会社であるニプロ医工(株)において生産ラインを設置 (補助率は投資総額の2/3)
- 👉 有事の際にワクチンを円滑に製造するための部素材の生産・供給体制を確保 (通常時はワクチンを含む種々の医薬品等に係るバッグやコネクタを製造)

# 安定供給体制の整備（滅菌済シリンジの増産対応）

～ドイツ工場において新たなシリンジ洗浄・包装ラインが本格稼働（本年6月より）～

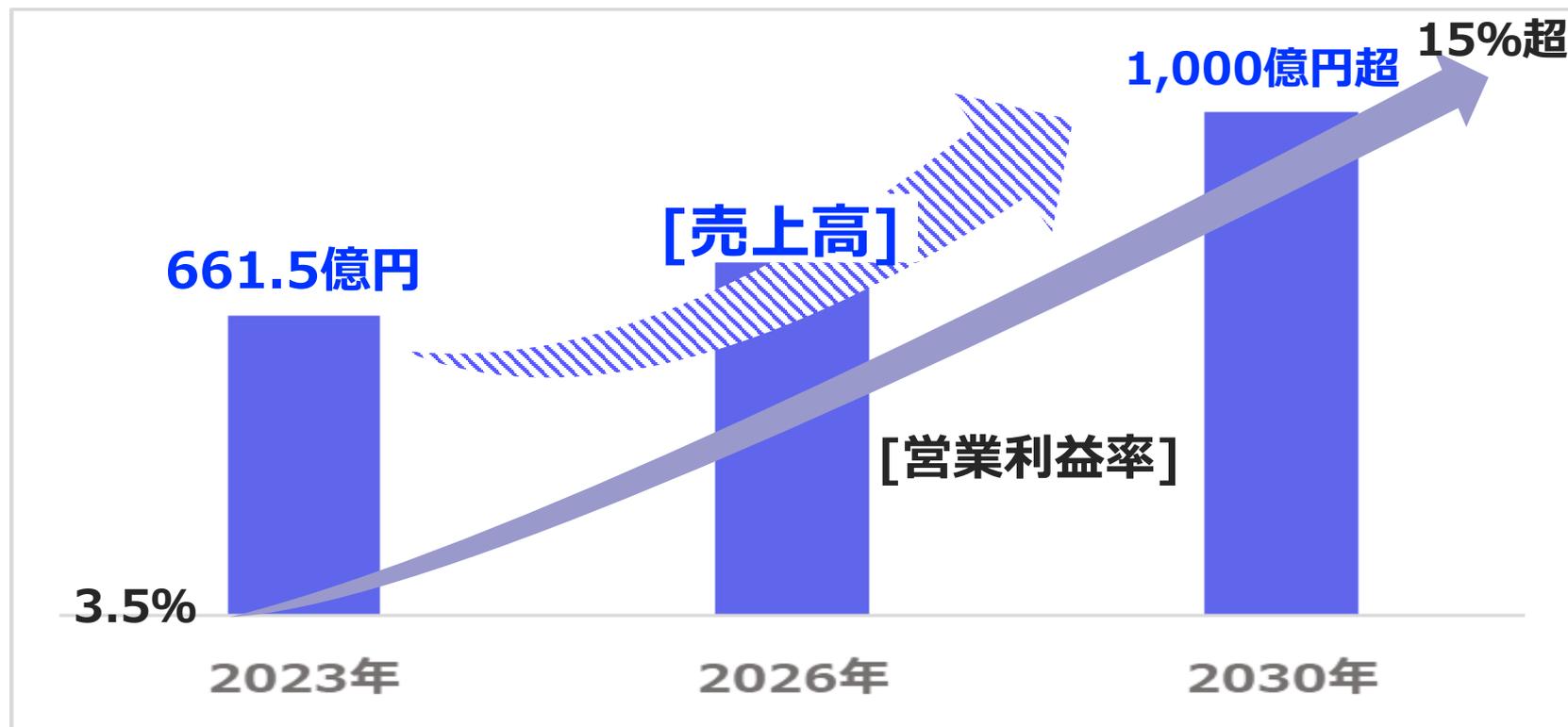


[シリンジ製造棟の全景]

- 👉 滅菌済シリンジの生産能力は現行比で約4割増
- 👉 シリンジ容器市場は毎年2桁成長、特にReady to useである滅菌済品の需要は急拡大
- 👉 多様な寸法、幅広い仕様に対応したD2F™シリンジ専用設備
- 👉 クリーンルーム環境下における自動化ライン

# 2030年に向けた収益目標

～強みを活かし差別化戦略を徹底することで利益率の飛躍的向上を目指す～



- 👉 競争力のある高付加価値品の迅速な開発・新規品需要の創出
- 👉 グローバルマネジメントボードにおける資源配分の適正化・各種投資の速やかな収益化
- 👉 全工場横断的なOperational Excellence(生産性向上) 活動の推進

ファーマパッケージング事業部は、  
医療・医薬の分野で培った技術とノウハウを基に、  
**医薬用総合容器メーカー**として、  
真に必要とされる**先進的商品を供給**することで事業拡大を行い、  
**世界中の人々の健康に貢献**して参ります。

